

# 果実販売動向

販売課 米澤 松太



11月の果実動向は数量増の単価安で推移しました。ミカンについては、極早生から早生種へ移行され、10月の好天から食味も良好で各産地とも入荷が安定し、堅調にスタートしましたが、酸抜きの早さから棚持ちや食味の低下が著しいうえに、入荷量が急増したことから、下げ基調での販売となりました。柿についても富有を中心に潤沢な入荷となり、弱含みでの販売となりました。

リンゴについては、青森県産早生ふじ系・シナノスイート・トキ等の中生種が極端に荷動きが悪い中、長野県産サンふじがスタートし併売となり、青森県産は流通在庫が膨らみ低迷し、反面、長野県産サンふじは品薄感から堅調販売となりました。輸出についても、

トキを中心に食味の悪さや単価高により流通在庫が膨らみ、各取引業者の損失も大きくほぼ停止している状況です。下旬からは国内贈答需要期となり、蜜入り、飛馬ふじを中心に作業が追い付かない状況となり、加えて東南アジア向けのXmas春節需要により1月下旬までは予断を許さない状況が続きます。反面、全国的な気象被害により、スレ果等の下位等級の割合が多いことから、市場においては品薄の上位等級と需要のない下位等級の価格差が大きく、極端な二極化現象となっております。

高値が続いた野菜相場も、外食産業等の輸入物への転用に加え、好天による生育前進で潤沢な入荷となり荷動きが鈍く、11月からは軟調傾向に転じました。

今後、ミカン・リンゴについては売り場の中心で構成され、柿については終盤となっていることから売場は縮小傾向となる見込みです。また、生育の遅れているイチゴについても徐々に増加傾向となる見込みです。そのような環境のなか、リンゴについては年明け以降全国的に溢れている下位等級品が暴落を招く要因とならないよう全農あおもりや全国りんご関係機関と協力しながら企画販売を徹底するとともに売り場を拡張し、相場の安定を図ります。



11月に県内キャンペーンが行われ、長蛇の列が出来た。(JA十和田おいらせ下田支店)

## 全農あおもりデータ・11/30累計

品 種	つがる	早生ふじ	きおう	トキ	王林	サンジョナ	サンむつ	むつ	サンふじ	その他	合 計
単 価 (円)	2,757	2,771	2,835	2,769	2,952	2,689	2,217	4,447	3,140	2,620	2,780
前 年 比 (%)	117	99	119	116	105	100	91	87	103	96	107
数量(箱/10kg)	921,671	786,453	131,598	185,709	48,198	85,765	1,385	2,056	212,699	354,491	2,730,025
前 年 比 (%)	84	110	96	95	94	72	172	128	71	104	93

# 直売所「林檎の森」

直売所 澤田翔



いつも直売所のご利用ありがとうございます。平成30年も残りわずかとなりました。皆様は良い一年になりましたでしょうか？直売所「林檎の森」は、皆様の力添えにより無事に年末を迎える事ができました。12月30日は、午後4時まで営業しております。久しく来店されてなかったお客様、出荷者様もお越しいただければ幸いです。

## 〈ついでに〉

今年度は重なる台風の影響から、贈答用リンゴの数量確保が心配となった出足になりました。しかしながら、出荷者の皆様の多大なご協力により、日を追うごとに陳列されるリンゴが増え、たくさんのお客様に美味しい飛馬リンゴを提供することが出来ました。品質が良く、手ごろな価格での出荷により、お客様が満足するリンゴを販売することが出来たと実感しています。出荷して下さった農家の方々には改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございます。今後とも何卒よろしくお願ひ致します。

## 〈店内商品〉

現在「林檎の森」には、しめ縄、もち米、切り餅、お神酒など年越し正月商品をそろえております。是非とも直売所「林檎の森」にてお買い求め下さい。

## 〈お願い〉

出荷する際に貼るバーコードは、マジックなどで品目訂正を行わないようお願いいたします。バーコードには商品の情報が入っており、レジで誤った情報を読み込むほか、レシートにも反映することからトラブルの原因にも繋がります。バーコードの品目を訂正する際は、再発行して対応するようお願いいたします。また、干したものを収穫した後に手を加えたものは、全て加工品用バーコードをお使い下さい。

## 〈最後に〉

新年度は1月4日からの営業となります。直売所スタッフ一同、笑顔で頑張りますので、皆様のご来店と出荷を心よりお待ちしております。

# いきいき女性部通信

農業振興課 女性部担当 堀井裕子



11月13日、JAゆっき青森本店で「青森県農協生活指導員県内研修」が行われ、県内JAから22名の生活指導員が集まりました。

今回は、JAゆっき青森女性部らくのう支部の牛乳普及活動の取組について研修し、実際に牛乳を使った調理実習も行いました。らくのう支部は、六ヶ所村庄内地区と東北町北栄地区の元気なお母さん達53名から構成されており、青森県産牛乳（あおい森の牛乳）を使った独自のメニューで牛乳消費拡大を目指しています。主に、地域のイベント

などでのPRや料理講習会を開催するなどして普及活動に努めています。

調理実習では、「牛乳もち」「牛型のミルククック



JAゆっき青森女性部らくのう支部の方々



「牛乳もち」をつくっている様子

キー「ツナと玉ねぎのクリームパスタ」をつくりました。どれをとってみても美味しく、時間もそれほどかからずに作ることが出来ました。「牛乳もち」は片栗粉と牛乳だけでつくる事が出来るお手軽レシピで、帰ってから家で作ってみました。家族にも好評でした。

牛乳は、骨を丈夫にするカルシウムがいっぱいなのでエルダーミセス部会や女性部でも料理教室を行う機会には是非挑戦してみたいと思います。